

## 第 6 章 俳句の推敲

- 6 . 1 俳句帳を選択する
- 6 . 2 俳句を選択する
- 6 . 3 俳句を修正する
- 6 . 4 句会 / 投句情報の情報を追加・修正する
- 6 . 5 登録を完了する
- 6 . 6 派生句について

登録している俳句を推敲する方法を説明します。

## 6 俳句の推敲

俳句の推敲は、以下の手順で行います。


- |                                 |       |
|---------------------------------|-------|
| 俳句帳を選択します。                      | 6 . 1 |
| 俳句の一覧画面から推敲する俳句を 1 件選びます。       | 6 . 2 |
| 俳句の推敲画面を開きます。                   | 6 . 2 |
| 俳句や詠んだ日などの情報を修正します。             | 6 . 3 |
| 必要に応じて句会 / 投句先や掲載有無などの情報も修正します。 | 6 . 4 |
| 最後に「登録」ボタンを選択して 1 句の推敲を完了します。   | 6 . 5 |

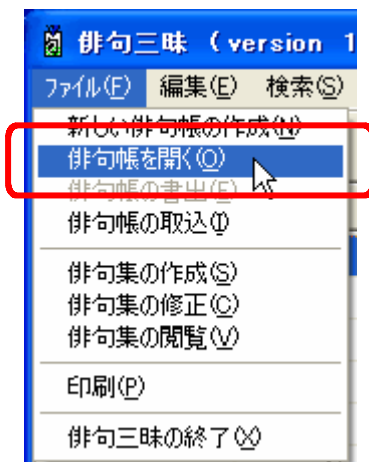
本章では、この ~ の手順通りに、俳句を推敲する場合の操作方法を説明します。

### 6 . 1 俳句帳を選択する

俳句を推敲するためには、まず、俳句を格納している「俳句帳」を選択する必要があります。俳句帳の選択方法は以下の通りです。

#### ( 1 ) メニュー操作

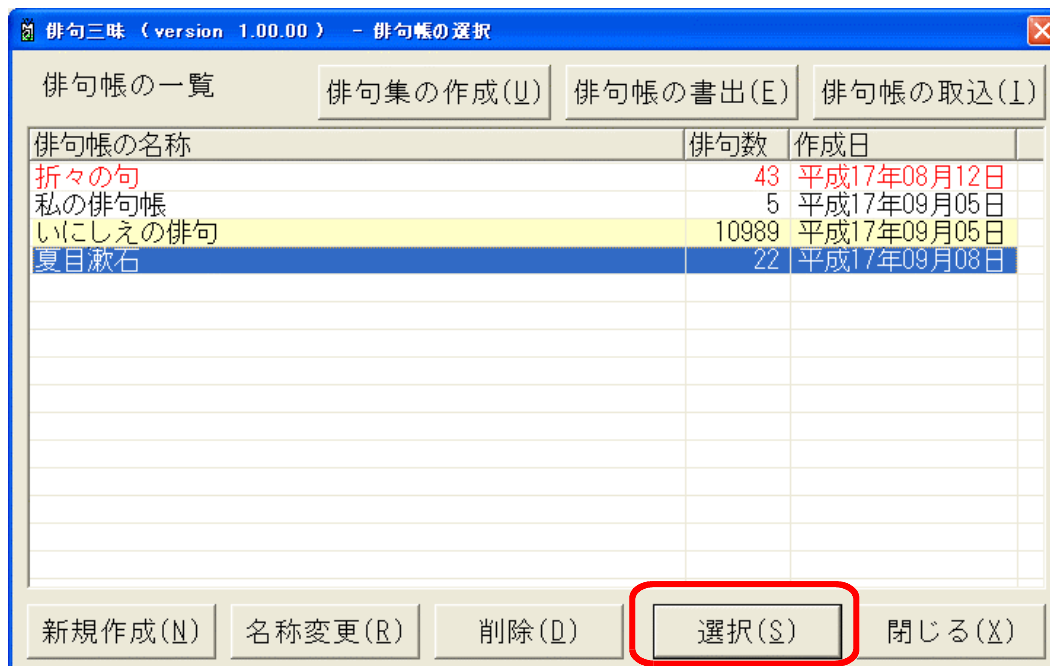
俳句帳を選択するためには、ファイルメニューから「俳句帳を開く」を選びます。または、ツールバー上の、 このアイコンを選択します。



この操作により、次ページのような俳句帳の選択画面が開きます。

## (2) 俳句帳の選択

以下は俳句帳の一覧画面です。  
俳句帳の名称や、俳句の登録件数などが表示されています。



俳句の表示内容や列の順序は実際の画面と異なる場合があります。

ここで、閲覧したい俳句帳を選択します。  
一覧上でマウスの左ボタンを1回押すと、その行が青色表示に変わります。  
画面の例では、「夏目漱石」が青色表示となっており、これが現在選択中の俳句帳であることを示しています。  
この状態で、「選択」ボタンを選ぶと、俳句帳の選択作業が完了して、俳句の一覧画面に戻ります。  
但し、今まで開いていた俳句帳に変更がある場合、これに先立って保存の確認画面が開きます。（「3.1 (4) 保存の確認画面について」参照）

### 備考：俳句帳画面の表示色について

俳句帳の画面では、色によって俳句帳の属性を表現しています。

**赤い字** : この俳句帳画面に来る前に開いていた俳句帳です。

**黄色の背景** : 修正ができない閲覧専用の俳句帳です。

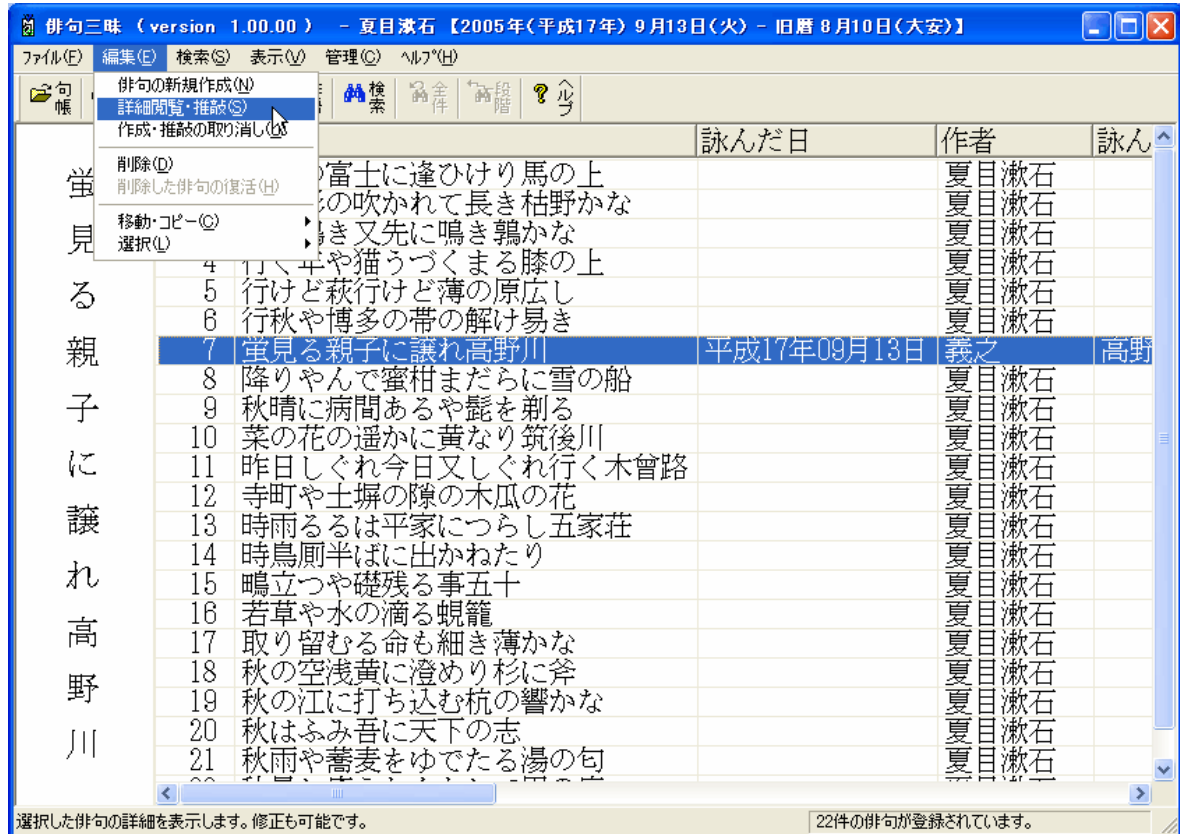
**青色の背景** : 「選択」ボタンにより、これから開こうとしている俳句帳です。



## 6.2 俳句を選択する


俳句を推敲するためには、推敲対象となる俳句を一覧リストから選択する必要があります。

目的の俳句のところでマウスの左ボタンを1回押すと、その俳句が青色表示に変わります。



俳句の表示内容や列の順序は実際の画面と異なる場合があります。

この状態で、次のいずれかで俳句の推敲画面が開きます。

- (1) 編集メニューから「詳細閲覧・推敲」を選びます。
- (2) ツールバーの、 このアイコンを選びます。
- (3) 目的の俳句のところでマウスの左ボタンを素早く2回連続で押します。

### 6.3 俳句を修正する

俳句の推敲画面は以下の通りです。この各項目に適宜、情報を入力して行きます。この画面例では、元々「譲れ」だった句を「譲る」に修正して、その旨をメモに記載しています。

#### 重要です。

修正ができない閲覧専用の俳句帳（俳句帳の一覧で黄色の背景で表示されています。）は、この画面は表示されますが、変更することはできません。

修正可能な項目を以下に示します。

「俳句」以外の項目は空欄のままでも構いません。

#### (1) 俳句

俳句の本文を入力します。

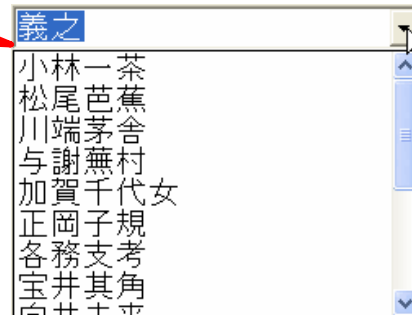
俳句の入力に連動して、左側の縦書き表示も変化します。

## (2) 作者

作者 義之

俳句の作者を入力します。  
一番最初の起動時は、オプション設定で登録した自分の名前が表示されます。

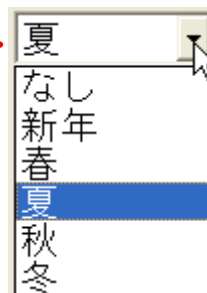
右側の ボタンを選ぶと、右図のようにメニューが開き、他の作者を選択することが可能となります。



## (3) 季節

季節 なし

季節を入力します。  
右側の ボタンを選ぶと、右図のようなメニューが開き、なし・新年・春・夏・秋・冬のいずれかが選択可能となります。



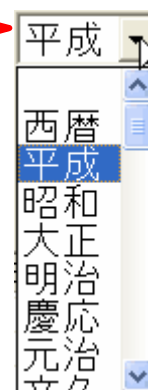
## (4) 詠んだ日

詠んだ日 [ ] 年 [ ] 月 [ ] 日 [ ] 今日

詠んだ日を入力します。  
右側の「今日」ボタンを選択すると、本日の年月日が自動的に入ります。

ボタンを選ぶと、西暦または和暦が選択可能です。

詠んだ日は、年だけ、および年月だけの入力も可能です。  
日または月日が不明の場合は、この部分を空欄のままにしても構いません。



## (5) 場所

場所 [ ]

主に俳句を詠んだ場所を入力します。

## (6) 対象

対象 [ ]

主に俳句の対象物が何であるかを入力します。

(7) メモ

メモ	
----	--

主に覚え書きを入力します。

備考：場所・対象・メモについて

上記(5)～(7)の項目には、どのような文字を入力しても構いません。  
その俳句にまつわる、わかりやすいメモ欄としてご活用ください。

## 6.4 句会 / 投句情報を追加・修正する

句会 / 投句情報には、対外提出した俳句の情報を記入します。

句会 / 投句情報を追加・変更する場合は、俳句登録画面の下半分（枠で囲んだ部分）を操作します。

追加操作は、「3.4 句会 / 投句情報を追加する」をご参照ください。

句会 / 投句情報の部分を拡大した図

変更したい句会 / 投句情報の上でマウスの左ボタンを1回押すと、その1行が青色表示に変わります。

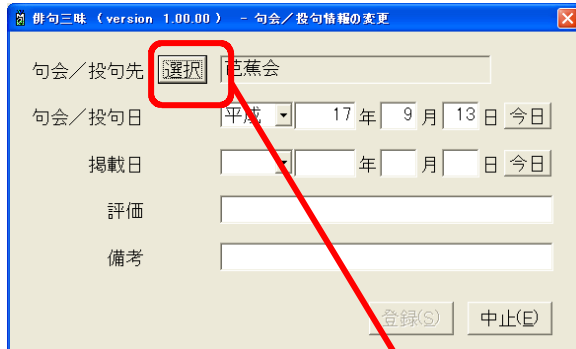
この状態で「変更」ボタンを選ぶと、句会 / 投句情報の変更画面が開きます。



## (1) 句会 / 投句先の選択

句会 / 投句先を変更する場合は、句会 / 投句情報の変更画面から、さらに「選択」ボタンを選択して、句会 / 投句先の一覧画面を開きます。

### 句会 / 投句情報の変更画面



俳句三昧 (version 1.00.00) - 句会 / 投句情報の変更

句会 / 投句先

句会 / 投句日 平成 17 年 9 月 13 日 今日

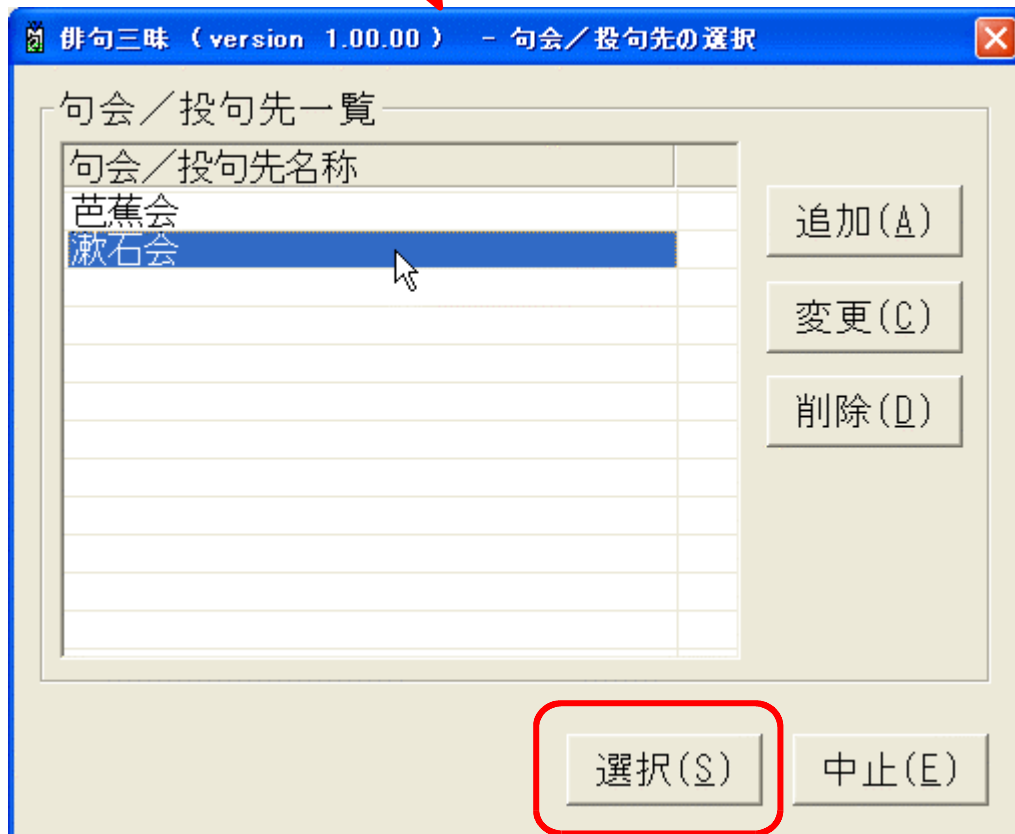
掲載日  年  月  日 今日

評価

備考

登録(S) 中止(E)

### 句会 / 投句先の一覧画面



俳句三昧 (version 1.00.00) - 句会 / 投句先の選択

句会 / 投句先一覧

句会 / 投句先名称	
芭蕉会	
漱石会	

追加(A)

変更(C)

削除(D)

選択(S) 中止(E)

この一覧には、すでに登録されている句会 / 投句先が表示されます。

たとえば「漱石会」という名称を、マウスの左ボタンで1回押すと、これが青色表示に変わります。

この状態で「選択」ボタンを選ぶと、句会 / 投句情報の変更画面に戻ります。

## (2) 句会 / 投句情報の変更画面

以下は、句会 / 投句情報の変更画面です。

俳句三昧 (version 1.00.00) - 句会 / 投句情報の変更

句会 / 投句先 選択 漱石会

句会 / 投句日 平成 17 年 9 月 13 日 今日

掲載日 平成 17 年 9 月 日 今日

評価 入賞

備考

登録(S) 中止(E)

この画面で、必要に応じて各項目の入力を行います。  
不要な項目は空欄のままで構いません。入力可能な項目は以下の通りです。  
最後に「登録」ボタンを選ぶと、これで句会 / 投句情報の変更作業が終了します。

### 句会 / 投句日

句会で詠んだ日、または投句した日を入力します。  
右側の「今日」ボタンを選ぶと、本日の日付が入ります。  
この項目は必須です。かならず入力を行って下さい。

句会 / 投句日は、年だけ、および年月だけの入力も可能です。  
月または月日が不明の場合は、この部分を空欄のままにしても構いません。  
次の 掲載日も同様です。

**掲載日** 掲載された日を入力します。  
右側の「今日」ボタンを選ぶと、その日の日付が入ります。

**評価** 掲載誌から得た評価などを記入します。

**備考** 備考や覚え書きなどを自由に記入します。

## 6.5 登録を完了する

以下は、俳句や句会 / 投句先情報など、必要な情報の入力が終わったところの推敲画面です。

ここで、「登録」ボタンを選ぶと、1句分の登録が完了します。

俳句三昧 (version 1.00.00) - 俳句の推敲

2005年 (平成17年) 9月13日 (火) - 旧暦 8月10日 (大安)

俳句 蛍見る親子に譲る高野川

作者 義之 場所 高野川上流八瀬の里

季節 夏 対象

詠んだ日 平成 17 年 9 月 13 日 今日 メモ 入梅直前。蛍の穴場です。譲れ→譲る

句会/投句情報

句会/投句先	句会/投句日	掲載日	評価	備考
漱石会	平成17年09月13日	平成17年09月	入賞	

追加(A) 変更(C) 削除(D)

前の句(B) 次の句(N) 登録(S) 一覧へ戻る(E)

### (1) 登録

登録ボタンを選ぶと、推敲が完了します。

「俳句」項目を修正した場合は、「派生句として登録」または、「上書」の2つから保存方法を選択します。

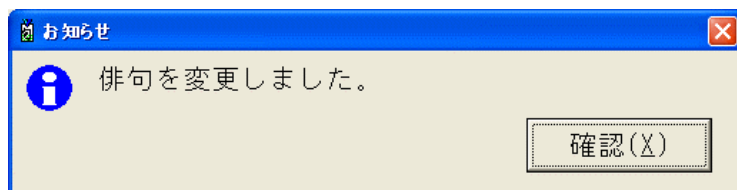
派生句については、「6.6 派生句について」で説明します。

お知らせ

「俳句」が変更されています。  
登録方法を選択してください。

派生句として登録(H) 上書(S) 中止(E)

登録に成功すると、以下の確認小窓が開きます。



修正した内容はそのまま残ります。

新規登録の場合のように、「俳句」の項目が空欄になることはありません。

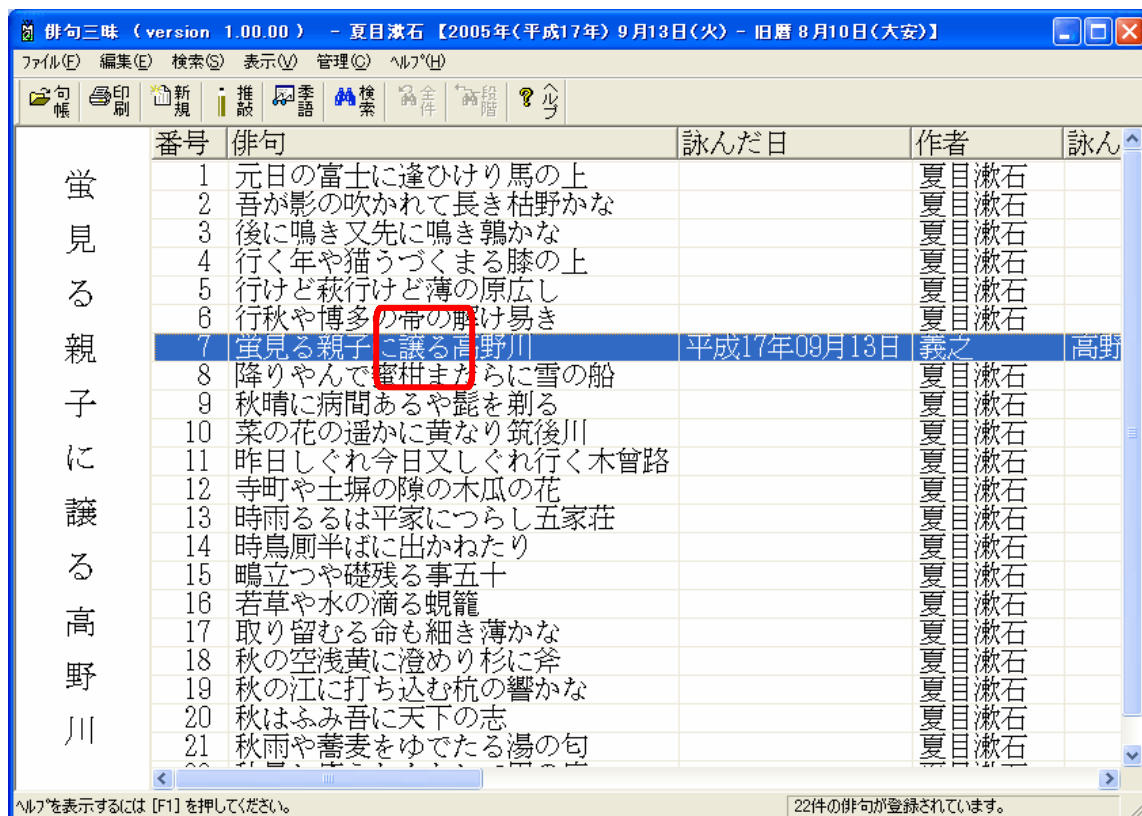
## (2) 前の句 / 次の句

一覧リスト上に複数の俳句がある場合、いちいち一覧画面に戻らなくても、これらのボタンで、前後の俳句に移動することが可能です。

## (3) 一覧へ戻る

「一覧へ戻る」ボタンを選んで一覧画面に戻ると、いま変更した俳句が一覧上に表示されていることが確認できます。

以下は、登録画面を閉じて戻ってきた一覧画面です。



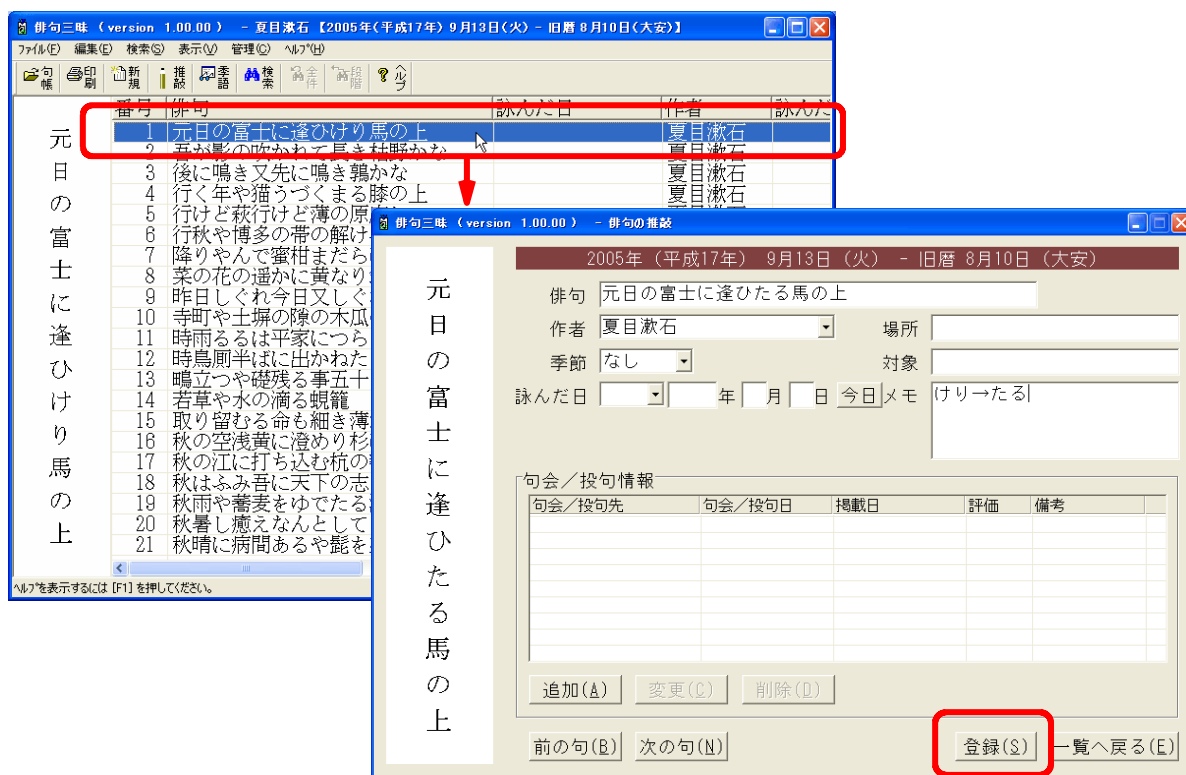
俳句の表示内容や列の順序は実際の画面と異なる場合があります。

## 6.6 派生句について

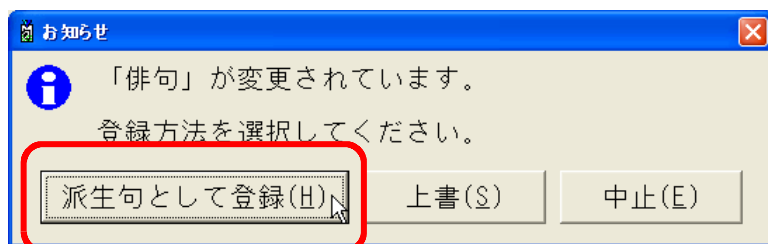
俳句の推敲を行う場合、推敲の対象となった俳句自身を書き換えるのではなく、別の俳句として登録するとき、これを「派生句」と呼びます。  
元の俳句を推敲して新たな俳句を作成したものの、元の俳句も残しておきたい時に推敲後の俳句を派生句として登録することが可能です。  
派生句の登録方法は以下の通りです。

### (1) 派生句として登録

まず、推敲対象となる俳句を選んで、俳句の推敲画面を開きます。



ここで、俳句に対する修正を行います。  
画面の例では、元の句「・・・逢ひけり・・・」に対して、「逢ひたる」と修正を行っています。また、メモ欄に修正内容なども記入しています。  
ここで「登録」ボタンを選択すると、以下の確認画面が開きます。



「派生句として登録」を選択すると、この俳句が派生句として登録されます。  
このとき、元の俳句は「原句」として、修正前のまま残ります。

なお、このとき「上書き」ボタンを選択すると、前節(6.5)の通り、元の俳句自身  
が変更の対象となり、派生句は作成されません。  
さらに、推敲対象自身が派生句である場合は、「派生句の派生句」はできず、単に  
上書き修正の扱いとなります。

## (2) 派生句の一覧表示

原句  
派生句

番号	俳句	詠んだ日	作者	詠ん
1	元日の富士に逢ひけり馬の上		夏目漱石	
2*	元日の富士に逢ひたる馬の上		夏目漱石	
3	吾が影の吹かれて長き枯野かな		夏目漱石	
4	後に鳴き又先に鳴き鶉かな		夏目漱石	
5	行く年や猫うつくる膝の上		夏目漱石	
6	行けど萩行けど薄の原広し		夏目漱石	
7	行秋や博多の帯の解け易き		夏目漱石	
8	降りやんで蜜柑まだらに雪の船		夏目漱石	
9	菜の花の遥かに黄なり筑後川		夏目漱石	
10	昨日しぐれ今日又しぐれ行く木曾路		夏目漱石	
11	寺町や土塀の隙の木瓜の花		夏目漱石	
12	時雨るるは平家につらし五家荘		夏目漱石	
13	時鳥厨半ばに出かねたり		夏目漱石	
14	鳴立つや礎残る事五十		夏目漱石	
15	若草や水の滴る蜩籠		夏目漱石	
16	取り留むる命も細き薄かな		夏目漱石	
17	秋の空浅黄に澄めり杉に斧		夏目漱石	
18	秋の江に打ち込む杭の響かな		夏目漱石	
19	秋はふみ吾に天下の志		夏目漱石	
20	秋雨や蕎麦をゆでたる湯の匂		夏目漱石	
21	秋暑し癒えなんとして胃の病		夏目漱石	

派生句には、行番号のところに、派生句であることを示す「\*」印が付きます。  
また、背景色が薄い青色となります。

右図の例では、派生句が  
2句に増えています。  
このように、ひとつの  
原句から複数の派生句を  
作成することも可能です。  
派生句は、かならず原句  
の下側に寄り集まって表  
示され、この位置関係は  
俳句の整列や移動を行っ  
ても変わりません。

番号	俳句	詠んだ日	作者	詠ん
1	元日の富士に逢ひけり馬の上		夏目漱石	
2*	元日の富士に逢ひたる馬の上		夏目漱石	
3*	元日のふじに逢ひけり馬の上		夏目漱石	
4	吾が影の吹かれて長き枯野かな		夏目漱石	
5	後に鳴き又先に鳴き鶉かな		夏目漱石	
6	行く年や猫うつくる膝の上		夏目漱石	
7	行けど萩行けど薄の原広し		夏目漱石	
8	行秋や博多の帯の解け易き		夏目漱石	
9	降りやんで蜜柑まだらに雪の船		夏目漱石	
10	菜の花の遥かに黄なり筑後川		夏目漱石	
11	昨日しぐれ今日又しぐれ行く木曾路		夏目漱石	
12	寺町や土塀の隙の木瓜の花		夏目漱石	
13	時雨るるは平家につらし五家荘		夏目漱石	
14	時鳥厨半ばに出かねたり		夏目漱石	
15	鳴立つや礎残る事五十		夏目漱石	
16	若草や水の滴る蜩籠		夏目漱石	
17	取り留むる命も細き薄かな		夏目漱石	
18	秋の空浅黄に澄めり杉に斧		夏目漱石	
19	秋の江に打ち込む杭の響かな		夏目漱石	
20	秋はふみ吾に天下の志		夏目漱石	
21	秋雨や蕎麦をゆでたる湯の匂		夏目漱石	

俳句の表示内容や列の順序は実際の画面と異なる  
場合があります。

### (3) 派生句の移動

派生句は、かならず原句の下側に寄り集まって表示され、この位置関係は俳句の整列や移動を行っても変わりません。

以下の例では、派生句を1件だけ選択して移動処理を行っていますが、実際には原句および派生句の組として移動を行います。

派生句だけ選択しても  
原句と派生句の組で移動  
します。

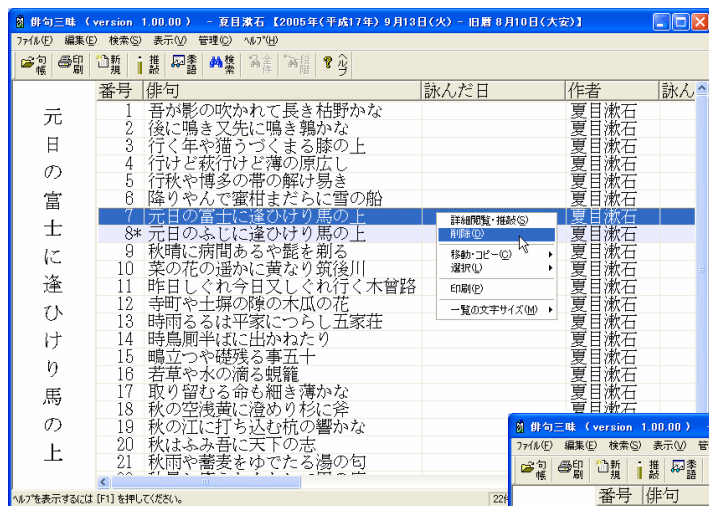
### (4) 派生句の削除

派生句を削除する場合は、選択された派生句だけが削除の対象となります。



## (5) 原句の削除

配下に派生句を持った原句を削除する場合は、原句だけを選択していても、配下の派生句ごと削除します。(ご注意ください)



原句を選択して削除すると  
派生句も同時に削除されます。  
「元日の・・・」の俳句は  
無くなります。

